

おぢや市議会 だより

NO. 114

令和6.10.25

編集発行
小千谷市議会

☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY

令和6年第3回定例会が26日間の会期を終え、今年度の各会計補正予算6件、昨年度の各会計決算認定9件、契約の締結2件、請願1件、発議案2件など、全26議案が慎重に審議されました。

小千谷市ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。 24時間利用可能な公衆トイレが併設

New Toilet



今月のトピックス

- Topic #1 議案第73号 令和6年度小千谷市一般会計補正予算(第5号)
- Topic #2 議案第77号 令和5年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定
- Topic #3 議案第69号 小千谷市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定

Topic # 1

議案第73号

令和6年度小千谷市一般会計補正予算(第5号)

地域おこし協力隊起業補助金100万円を補正し、任期終了後の起業や事業承継を支援。企業連携型の地域おこし協力隊員が市内で起業を予定しており、起業準備の進捗に伴い、来年度の任期前に補助を行うもの。

【質疑の一部】

Q. 任期途中の支給か。好事例としてPRしては。

A. 本来は令和7年度の当初予算に計上予定だったが、協力隊員本人の起業計画によるもの。令和7年7月までの3年間の任期を全うする意思があり、任期後も市内で起業を予定。任期の2年目から補助対象となっており、早めの開業準備のため活用する。

Q. 地域おこし協力隊としての活動と異なる内容の起業でも、起業補助金は活用できるのか。

A. 地域課題の解決に取り組む内容であれば、活用できる。

Topic # 2

議案第77号

令和5年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定

住宅エコリフォーム補助金の申請者が多く、200件の上限に対し241件の申し込み。省エネ・エコ住宅設備・防災に配慮した、合計50万円(税込)以上の住宅のリフォーム工事を対象に、工事費の10分の1(上限額10万円)を補助するもの。

【質疑の一部】

Q. 200件の上限に対して、多数の申し込みがあったと聞か。

A. 200件を上限に設定したところ、41件の申し込み超過となった。

Q. 事業目的は経済対策・CO2削減と承知しているが、魚沼市では、同様の事業を数倍のメニューで用意。補正を組む場合もある。超過分は補正で対応などの検討はしなかったのか。

A. 補正は考えていなかった。本市の場合は歴史ある事業ではなく、事業者への経済対策から始まった側面がある。毎年多くの申請があるため、他市の事例を見ながら内容を検討したい。

Topic # 3

議案第69号

小千谷市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

ホントカ。のオープンにより、演アンカーに併設された公衆トイレが稼働。それに伴い、長年活用された旭橋元町交差点の本町公衆トイレが廃止となるもの。

【質疑の一部】

Q. 今までの利用状況は。

A. 利用者数のカウントはしてないが、水道使用量から判断すると年に1,000~1,500人と推定。

Q. 本町公衆トイレの取り壊し後の対応は。

A. 取り壊し後は、防草シートを敷き景観が損なわれない状況にする。売却は考えていない。

Q. 本町公衆トイレは、いつまで利用できて、ホントカ。の公衆トイレの利用はいつから。

A. 従来の公衆トイレは9月末に閉鎖。ホントカ。のオープンに合わせて新たな公衆トイレが24時間利用可能。

Q. 市内に公衆トイレは何ヶ所あるのか。

A. 33ヶ所となっているが、冬季間は閉鎖するものもある。



廃止された旭橋元町交差点の公衆トイレ



ホントカ。(演アンカー)に24時間の公衆トイレ

第3回定例会 議決結果

(8月30日から9月24日まで開催)

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果	
条 例	議案第68号	小千谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定	全会一致	原案可決
	議案第69号	小千谷市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定	〃	〃
	議案第70号	小千谷市老人医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	〃	〃
	議案第71号	小千谷市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	〃	〃
	議案第72号	小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	〃	〃
予 算	議案第66号	専決処分（令和6年度小千谷市一般会計補正予算（第3号））	〃	承認
	議案第67号	専決処分（令和6年度小千谷市一般会計補正予算（第4号））	〃	〃
	議案第73号	令和6年度小千谷市一般会計補正予算（第5号）	〃	原案可決
	議案第74号	令和6年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	〃	〃
	議案第75号	令和6年度小千谷市介護保険特別会計補正予算（第2号）	〃	〃
	議案第76号	令和6年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	〃	〃
決 算	議案第77号	令和5年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定	賛成多数	認定
	議案第78号	令和5年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	〃	〃
	議案第79号	令和5年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	全会一致	〃
	議案第80号	令和5年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	賛成多数	〃
	議案第81号	令和5年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定	全会一致	認定
	議案第82号	令和5年度小千谷市ガス事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	原案可決 認定
	議案第83号	令和5年度小千谷市水道事業会計決算認定	〃	認定
	議案第84号	令和5年度小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	原案可決 認定
	議案第85号	令和5年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	〃
その他	議案第86号	契約の締結について（(仮称)小千谷市防災センター新築(建築主体)工事）	〃	原案可決
	議案第87号	契約の締結について（(仮称)小千谷市防災センター新築(電気設備)工事）	〃	原案可決
	議案第88号	小千谷市教育委員会委員の任命（福島ひろみ氏）	〃	同意
	議案第89号	公の施設の相互利用に関する協議	〃	原案可決
発 議	発議案第5号	私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書	賛成多数	原案可決
	発議案第6号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	〃	原案可決
請 願	請願第4号	「私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の提出を求める請願	みなし	採 択

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択されたものとみなします。

議員賛否の状況（採決において賛否が分かれたもの）

議案番号等	議決結果	賛成	反対	廣井良宣	佐藤勝義	和田忠篤	佐藤瑞穂	高木健太	平澤智	阿部守男	内山博志	上村行雄	住安康一	駒井和彦	森本恵理子	佐藤隆一	久保田陽一	長谷川有理	田中淳
議案第77号	認定	12	2	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	欠	×	○	○	○
議案第78号	認定	12	2	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	欠	×	○	○	○
議案第80号	認定	12	2	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	欠	×	○	○	○
発議案第5号	原案可決	12	2	×	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	欠	○	○	○	○
発議案第6号	原案可決	13	1	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	○	欠	○	○	○	○

※ ○は賛成、×は反対、議長（上村行雄）は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

委員長 平澤 智

本委員会に付託されました議案4件、及び請願1件につきまして慎重に審査した結果、議案4件を認定や可決すべきもの、請願1件を採択すべきものとなりました。

○議案第77号 令和5年度一般会計歳入歳出決算認定

意見として

・住宅エコリフォーム補助金はC02削減目標にも役立つので全ての希望者に応えるべく増額補正していただきたい。

・農福連携はいろいろな要因で難しく大変。諦めないで前に進めていただきたい。

・市民協働支援補助金が満額実績として交付できるようにしていただきたい。

・空き家の活用について協議体を作って対策を進める等していただきたい。

討論として

・令和5年度の一般会計は13億円を超える黒字となっているが市民

税非課税世帯が約3割を占めるなど、市民の生活が大変な状況であるので、暮らしの格差をできるだけ少なくする努力や工夫をすべきとの理由で反対。

との発言があり、採決の結果起立多数により原案のとおり認定すべきものと決しました。

○請願第4号 「私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の提出を求める請願討論として

・私立高校は、特色を持って幅広い教育を行う大きな役割を發揮しており、子ども達が経済的な負担が理由で学べなくなることはあってはならない。公立との教育費の格差は少しずつ軽減されているが、まだまだ私学において負担が大きいのが現実である。教育の負担軽減と公立との格差が生じないようにするため賛成。

との発言があり起立多数により本請願は採択すべきものと決しました。



民生産業委員会

委員長 阿部 守男

○議案第70号 小千谷市老人医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

質疑として 施行日について

○議案第72号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

質疑として 諸事情により来庁できない方のマイナンバーカードの取得方法について

○議案第78号 令和5年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

質疑として 一般被保険者療養給付費負担金の減額理由について

取納率上昇の要因について 国民健康保険税における予算額に対する調定額の増加について

○議案第79号 令和5年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定

質疑として 介護保険サービス事業所数の減少とそのサービス種別について、訪問看護や施設入居者の増加傾向と要因について

○議案第82号 令和5年度小千谷

市ガス事業会計の利益の処分及び決算認定

質疑として 民間譲渡に伴う滞納金の対応、減価償却の考え方について、不納欠損の金額について、キャッシュフローにおける投資活動と民間譲渡との関係について、ガス購入量・供給量の減少と今後の状況について

○議案第83号 令和5年度小千谷市水道事業会計決算認定

質疑として 損益分岐点の考え方について、油流出事故による影響と損害賠償額について、有収率と管路更新について

○議案第84号 令和5年度小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定

質疑として 給水量増の要因について、その他営業収益増の要因と水道事業との負担割合について

○議案第85号 令和5年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定

質疑として 企業債返済方式及び利率について

○議案第89号 公の施設の相互利用に関する協議

質疑として 相互利用の実態と見込みについて

佐藤 瑞穂 議員



中越大震災から20年を迎えた 地域づくりをめぐる

質問 震災により一足早く人口減少時代に突入した中山間地域を抱える当市の地域づくりの展望は。

答弁 今後の方針として、地域の資源や魅力の再発見とPR、伝統行事の伝承、都市住民等との交流など、地域活性化のための活動が持続的なものとなるよう支援するとともに、公共交通等の移動手段の確保や空き家対策の推進に努め、暮らしたい地域で暮らし続けられるまちづくりを進めたい。

質問 当市が事務局の「中越大震災ネットワークおぢや」など全国的ネットワークの維持と展望は。

答弁 現在の会員数は91自治体。平時には被災家屋調査の実地研修などにより過去の震災から得られた知見と教訓を共有。会員相互の情報交換や大規模災害発生時の被災情報の共有等を行なっている。

る。今後も組織を維持し、より効果的な活動を継続していくためには、事務局機能の強化が必要であり、共同で事務局を担う常葉大学（静岡県）をはじめ、会員の意見を聞き、検討したい。なお、広域的な防災上は、災害時の相互援助協定を締結している9自治体による「自治体スクラム支援会議」がより重要な役割を担うネットワークと考える。定期的な会議を開催し、必要な課題を情報共有、防災以外の分野でも顔が見える関係を築いている。防災協定の実効性を高めるため、物理的に離れた地域でもあることを活かした広域的な取り組みを推進し、連携を強化していきたい。

質問 楽集館の記念碑を中心に実施されてきた「追悼のつどい」を含めて、20年を経たこれ以降、「中越大震災の日」である10月23日を迎えるにあたって、市民が集い、心一つにする場所や機会をどのように確保するか。

答弁 そなえ館を（仮称）小千谷市防災センターへ移転する際は、記念碑も移設し、「追悼のつどい」の会場も防災公園に移す予定。

平澤 智 議員



地域公共交通の現状と今後の展開について

質問 循環バスの現状と展開について。

答弁 平成29年の運行開始から利用が約4割減少しており、1便あたりの利用者が5人以下となっている。AIデマンド交通への転換を検討している。

質問 自動運転バス等の可能性について。

答弁 実証実験の段階であり、地形的、地域的なニーズ、降雪時の問題等を考慮した際、現時点での実証実験は困難と考えられる。

質問 ライドシェアの現状と今後の展開について。

答弁 日本版ライドシェアはタクシー事業者の管理のもとで国の許可が必要。市内タクシー事業者から需要が見込まれる時間帯にライドシェアを導入する方向で国への申請をするための調整を行っている。

る。許可が下り次第、時期、詳細について検討を行い運行を開始する予定。

情報化推進計画について

質問 ワンストップ窓口推進事業の実践予定について。

答弁 「書かない窓口」を令和7年1月システム稼働に向け準備を進めている。出生や転居など窓口手続きで住所や氏名等を記載する回数が大幅に減少される予定。

質問 キャッシュレス決済の利用拡大、問題点、電子地域通貨に対する評価について。

答弁 現在、市民生活課、税務課、ガス水道局、おぢやる、テレワークステーションおぢやで利用が可能。電子地域通貨については、現段階においては運用方法や費用対効果の面で課題が多いことから慎重に判断する必要があると考えている。

質問 マイナンバーカードの普及状況について。

答弁 令和6年8月末現在保有枚数は78.4%であり、県内20市中第5位である。マイナンバーカード保険証への移行に伴い徐々に増加するものと予測している。

市政の内容を聞く

一般

質問

住安 康一 議員



認知症対策について

質問 認知症高齢者や障がいのある方の行方不明の早期発見に、GPS機器を活用した救護システムの構築を検討すべき。

答弁 他市の状況把握を行う。

質問 認知症になっても住み慣れた地域で暮らしていけるためにも、行方不明になってもすぐ見つかる連携体制構築のためにも、地域住民による見守りは重要です。地域住民による見守り体制の構築をどのように進めるのか。

答弁 民生委員・児童委員からの協力で訪問活動の実施や地域の支え合い・助け合いを推進する生活支援体制整備事業を進めている。また、認知症徘徊模範訓練を実施し、その地域における見守りや支え合いができる体制づくりを支援している。今後も、生活支援体制整備事業を核とした地域支え合いの推進と合わせて、町内会など、

身近な方々から自主的に支援してもらえよう、見守り組織に関する啓発と課題の把握に努める。

犯罪被害者等支援条例について

質問 当市において、犯罪被害者に対しての相談体制の整備や生活支援、住居支援、医療関係支援、法的支援等多岐にわたる継続した支援のため、犯罪被害者等支援条例の制定に向けた検討をすべき。

答弁 新潟県から条例制定の意義に関する説明を受けている。今後、条例制定の意義や効果を分析して判断する。

有害鳥獣対策について

質問 電気柵はイノシシ被害を防ぐための有効な手段の一つと考える。有害鳥獣対策に有効な電気柵の設置費用に対する補助金の検討をすべき。

答弁 「小千谷市鳥獣被害防止対策協議会」では、来年度の鳥獣被害防止対策事業において、農業者が被害防止対策に積極的に取り組むことができるよう、電気柵の設置に対する補助制度の創設に向けて検討しており、市としても協議会の取り組みを支援したい。

佐藤 隆一 議員



環境田園都市を目指して

質問 原発再稼働は、再生可能エネルギーの普及を妨げます。小千谷市はかつて、小水力発電を新潟県に候補地の推薦もしています。市長は、小千谷には適地はないと過去に答弁していますが、何かが変わったのでしょうか。

答弁 環境省のデータから、費用対効果の経済性が見込めず、現在は検討していません。

質問 個人住宅パネル普及の今後の計画を明らかにしてください。

答弁 補助制度は年10件程度の利用があります。新潟県の支援事業と連携し利用しやすい制度となるよう工夫しております。

質問 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関係した国の説明会で、質問の時間制限など、強引な議事進行に批判が上がりました。市は事前に知っていたのでしょうか。

答弁 事前説明を受けていません。

質問 原発の運転には安全が大前提です。しかし、安全と安心は別物です。強引なやり方は市民の不信感を増すばかりですが？

答弁 国の責任において、市民に安全性や再稼働の必要性を説明し、十分な理解を得ることが必要です。

学校給食の無償化について

質問 学校給食の無償化が急速に進んでいます。調理業務では、ストレスを抱えながらの重労働であることは全く知られていません。

教育長答弁 調理業務の効率化で、安心・安全な給食を目指します。

質問 現場からは調理員が足りないと思痛な声が上がっています。調理員の募集に応募者がありませんか。

教育長答弁 必要に応じ会計年度任用職員を採用しています。一部の学校で欠員が生じていますが、業務に支障のないよう対応しています。

質問 子どもの数は減ってもアレルギー体質児童は増えています。衛生面や健康管理の面から設備改善に取り組んでいるか。

教育長答弁 無償化に踏み切るべきです。国の動きを注視しています。

廣井 良宣 議員



防災DXについて

質問

近年、集中豪雨や地震、台風などの様々な自然災害が頻発し、各地方自治体では住民の生命や財産を守るため様々な取り組みを行っている。全国的には防災減災対策及び復興復旧の充実強化に向けてデジタル化に取り組んでいる。

新潟県は防災DX官民共創協議会に参加しているが県内市町村は僅かである。中越大震災を経験した当市としては震災から20年の節目でもあり、参加してはどうか。

答弁

国においては防災DXに関連する施策推進として防災DX官民共創協議会と連携し、防災分野におけるデータ連携の促進や防災DXの実現に向けた施策を推進しており、今後具体的な道筋が示される。去る8月9日に県と県内市町村で構成する広域災害等の避難者支援システム導入のための協議会が設立された。当市としては防

災DX官民共創協議会の情報を収集し参加する必要性を検討する。当面は広域災害時の避難者支援システム導入のための協議会に参画し防災DXに取り組んでいきたい。

質問

能登半島地震では道路状況の悪化、損壊家屋の増加、通信手段の損壊が発生し、広範囲の断水による水洗トイレが使用不能となった。災害時のトイレ問題は生活や衛生環境の悪化により災害関連死に直結する危険性がある。今年度、仮称小千谷市防災センターが着工となるが、緊急防災減災事業債やクラウドファンディング、ふるさと納税を活用したトイレトレーラーの導入について見解を伺う。

答弁

トイレトレーラーを保有する見附市は全国の市町村が1台ずつ常備し、大規模災害時に各自治体が被災地に派遣することを想定して導入したと聞いている。購入と維持管理に係る経費の財源確保、けん引運転免許のある人員と車両の確保など多くの課題もある。代わりに自動式仮設水洗トイレカーや組立式個室トイレがあり、それぞれのメリット・デメリットを比較し導入の可否について研究する。

阿部 守男 議員



質問

質問

ガス事業売却金の利用について。

答弁

ガス事業を令和7年4月1日に北陸瓦斯株式会社へ譲渡、本年度第4回定例会において、令和7年度にガス事業清算特別会計を新設する議案を提案、ガス事業の固定資産及び流動資産の売却代金を加えると約48億円。

質問

ガス事業の売却金額を、耐震化が進んでいない水道本管改修に充ててはどうか。

答弁

当市の水道管の耐震化率は令和4年度末時点で22.4%。今後、耐震化と老朽管の大量更新は水道事業における大きな課題。

質問

水道本管との関連について。

答弁

北陸瓦斯株式会社はガス管耐震化について当市が実施してきたおおよそ2倍のペースで実施予定。水道管の耐震化を同時施工とするには2倍の予算処置が必要となるため同時施工することは難しい。

質問 当市の要となる水道本管の耐震化について。ガス事業売却代金は水道本管耐震化の基金とすること。

答弁

小千谷浄水場から船岡山排水池までの送水管は基幹水道施設として最重要施設の一つである。

令和5年度に船岡山送水ルートの検討を開始した。東小千谷地区の送水管は旭橋に添架して基幹水道施設として最重要施設の一つである。近年、老朽化に伴う漏水が度々発生していることから令和5年度に東小千谷給水区域再編基本計画を策定した。

船岡山配水池までの送水管が損傷した場合、断水戸数約9100戸、旭橋に添架している送水管が損傷した場合、断水戸数約2300戸。



市政の内容を聞く

一般質問

市政の内容を聞く

一般質問

和田 忠篤 議員



こども計画の策定について

質問 ヤングケアラーの認知度を高めていくための手立てを伺う。

答弁 国や地方自治体による広報啓発に加え、当市では今年度の新たな取組として、地域の身近な相談相手であり、ヤングケアラーの存在に気づいていただける民生委員・児童委員を対象に研修を実施しました。

質問 ヤングケアラーに対し、具体的にどのような支援方法を検討するのか伺う。

答弁 当市においても、こどもを対象とした相談支援を行う「こども家庭センター」の設置に向けて準備を進めており、設置することにより支援体制の強化を図りたいと考えています。

なお、具体的な支援方法については、引き続き検討を進めますが、関係機関との連携を図りながら、常にこどもの立場に立って、的確

な判断と迅速な対応を行うことを目指しています。

質問 具体的に若者に対する支援としてどのようなものがあるのか伺う。

答弁 「安心して出産・子育てのできる環境づくりを進める」ため、出産・子育て期を通じて保健師や助産師などが支援する取組や、妊産婦やこどもの医療費について自己負担額の全額助成といった経済的な支援を行っています。

中学校の部活動の地域移行について

質問 小千谷市の方向性は、国の方針より一步踏み込んだ内容となつていますが、その理由を伺う。

教育長答弁 休日も平日も同じ指導体制で活動することが望ましいと考え、総合的に検討した結果、国の方針よりもさらに踏み込んだ内容としたものです。

質問 休日・平日ともに地域移行できる見込みなど、当市の取組状況を伺う。

教育長答弁 多くの種目において練習時間、練習場所、そして指導者の確保等が課題となっており、関係団体と協議を進めています。

久保田 陽一 議員



小中学校体育館の環境改善について

質問 移動式エアコン導入についての研究・検討は行われたのか。また、前向きに検討し、導入すべきでは。

教育長答弁 移動式エアコンについては既に導入している燕市やメーカから情報収集し、設置方法、費用、財源についての研究・検討を行ってきた。移動式エアコンは設置場所周辺をスポット的に冷やす効果はあると見込まれるが、体育館全体を冷やすことは難しく、さらに、使用時の設置場所や使用しない時の保管場所の確保にも課題があると受け止める。

質問 輻射熱を97%反射する遮熱シートを施工し、児童生徒の熱中症対策及び体育館の環境改善につなげるべきと強く思うが見解は。

教育長答弁 遮熱シートについては環境改善を図るうえで一つの選

択肢であると受け止めているが、窓が多く気温が上がりやすい体育館の温度を下げる効果については、今後、情報収集する必要があると考えている。いずれにしても引き続き子どもたちにとってより良い施設環境となるように、学校体育施設を含めた学校のあり方を丁寧かつ慎重に検討していく。

質問 情報収集を行ったとのことだが、電話のみ。燕市や小千谷市内で施工した倉庫など、現地に足を運び実際に生の声を聴き体感すべきでは。

教育長答弁 小千谷市内で施工した倉庫へ行つて話を聞きたいと思う。また、既に体育館に施工している桜道中学校から実際に聞いてみる必要があると思う。

質問 来年度からの東小千谷小学校の大規模改造時に西体育館に遮熱シートを実験的に施工すべきでは。

教育長答弁 やるやらないの即答はできないが、情報収集しながら検討していく材料の一つとしたい。

高木 健太 議員



ノー残業デーの効果検証と勤怠管理のデジタル化の進捗について

質問 効果検証と職員の働き方への影響について。

答弁 昨年度はノー残業デーに時間外勤務を行った職員は延べ861人。直近5年間では若干増加傾向。目標数値は未設定。効果を図るアンケート等は行っていない。ノー残業デーの運用は、心身のリフレッシュや業務意欲の向上につながっていると考える。

質問 勤怠管理のデジタル化の進捗について。

答弁 現在はシフト勤務を行っていない一部の部署に限定して本格的な運用を開始。事前にシステムへ正規の勤務時間を登録する必要があり、勤務時間や出退勤時刻が一律でないシフト勤務については検討を継続。また、24時間勤務を行う職員や公営企業職員についてはシステムのカスタマイズが困難

であり、当面は運用範囲から除外する方向で検討。

プロジェクトチーム型の事業に伴い、職員を送り出している担当課のバックアップ体制について

質問 担当課の支援体制について。

答弁 プロジェクトチームの設置により業務量の増加は承知している。管理職を中心に負担感を共有し、業務状況に関心を持ち、全ての職員が当事者として参画する意識を持つように指示している。

質問 負担分散の取組と今後の計画について。

答弁 現時点では、事務分掌の変更ではなく、各部署における業務縮小や効率化の取組を優先。プロジェクトチームの設置期間を今年度までとしていることから、新たな手立てを講じる予定はない。

質問 経験や成果、評価の共有について。

答弁 現在も業務状況や経験は部署内で共有されていると考える。チームの業績を実践に活かす視点で評価し政策に反映させるほか、個々の職員のスキルアップや今後の複数部署連携業務の推進に反映させることが重要と考える。

駒井 和彦 議員



地方創生総合戦略や総合計画等の今後について

質問 総合戦略、国の報告、当市の評価・認識、今後の取り組みは。

答弁 国の報告は人口減少、東京一極集中等、依然地方が厳しい状況にある事を明確にしている。当市も施策・事業共不十分、改訂総合戦略では新たな発想も含め取り組みを進める。

質問 長岡市が中核市になった場合の当市への影響は。

答弁 人口や企業が流出する可能性がある。一方で事務権限の委譲で事務量が増加、保健所等の設置によって、多数の専門人材確保が必要となる。当市においては、人口3万人のまちだからできる、スピード感のある政策実行力を強みに、現在の施策を実行し、更に当市独自の施策を磨き上げ、当市の魅力や暮らしやすさを最大限発揮できるまちづくりを進める。

質問 ガス事業民間譲渡金の使途は水道事業に充てるべきでは。

答弁 使途については市政全般を見通した上で決定したい。

山本山整備に係る諸課題等について

質問 今後多くの人が訪れる事による課題認識と今後の対応は。

答弁 沢山ポケットパークにおける諸課題は、看過できないと考えており、カラーコーンの設置や臨時駐車場の開放、山頂トイレ案内を徹底したい。猛禽類渡り観察者専用駐車場、臨時駐車場内トイレ設置については、今後、関係団体と共有・検討する。

柏崎刈羽原発再稼働について

質問 放射性物質の拡散について、当市への影響等どう捉えているか。

答弁 北西の風が吹く場合に、当市への影響が最も大きくなり、それを前提に備えなければならぬ。

質問 当市要望に係る国の回答及び市長の再稼働容認の是非は。

答弁 国の回答は、当市の実情を踏まえ対応する。再稼働容認については現時点、知事の判断を尊重。

市政の内容を聞く

一般

質問

森本 恵理子 議員



図書館等複合施設

「ホントカ。」について

多世代が利用する誰もが安心して

過ごせる居場所にも関わらず、若者を中心とした選定委員会の構成になった理由は。

多世代ではあるが、愛称選定においては若者をターゲットとした。

若い世代からプリクラ機設置を要望する声があがっているが。

民間事業者から設置してもらうことに主眼を置き、ワークショップのテーマとして意見交換を行うことを検討していく。

ログマークが見えにくい。

そうしたご指摘をいただいているが、コンセプトをご理解いただけるようPRに努める。

郷土資料等の脇にQRコードを記載し、ウェブページにリン

クさせる仕組みになっているが、電波状況が悪い場所があり、繋がらない。見解と対応について伺う。

携帯電話会社と相談する。

屋上につながる階段の傾斜がきつく、危険。以前、階段に座

って演アンカーを見ると説明もあつた。利用者の利便性、安全性を最優先とする観点から改修を検討すべきでは。

市民をはじめ多くの方々にご利用いただいた中で大きな課題が出るようであればその時にまた研究していく必要性もあると思つている。

図書館や郷土資料を扱う施設では温湿度管理が重要。温湿度が高く、カビの匂いも感じたが、見解と対応を伺う。

準備期間中にカビや結露を確認。今後は改善すると見込んでいますが、不具合が認識された場合は、都度、速やかに対処していく。

市外や県外から人々を呼び込み、街全体に活気をもたらすような運営が必要では。

多様な活用形態により、多くの方が訪れるための戦略が必要。経済効果の波及も検討する。

内山 博志 議員



猛暑で苦しむ非課税世帯等へのエアコン購入、設置補助について

諸物価高騰の収束は先が見えない。住民税非課税世帯などに

冷房機器設置補助と光熱費補助を。保護費や生活福祉資金貸付制度を活用してほしい。市独自の補助の予定はない。光熱費補助は国、県の諸制度に市も歩調を合わせ平等性を考慮して実施していく。

交通安全のための支援について

市民と子どものヘルメット購入補助を行う考えはないか。高齢者の衝突被害軽減ブレーキなど後付け装置の補助をすべき。

ヘルメット着用は各団体と共に啓発に取り組み。体験・実践型のシルバードライビングスクールを実施している。補助制度は考えていない。

国保税の負担軽減について

所得がない子どもなどへの均等割・頭割り課税は一部の軽減

はあるが過酷だ。減免すべき。積立金等を使って減免している自治体もある。

当市の保険税は他市と比較して低い。納付が難しい方には相談を受けている。

保育の新配置基準について

75年ぶりに配置基準が改定された。増員は。会計年度任用職員を正職員にし、安定した体制をつくるべき。

年度当初から新基準を満たす配置にしている。代替え職員の確保が困難な状況が続いている。正職員の新規採用保育士とともに年度途中に採用の会計年度職員確保に努める。

小千谷総合病院、地域医療を守るために

日本病院会などの調査では赤字の病院が7割、診療報酬改定など求めている。地域医療を守るため診療報酬改定など繰り返し国、県に求めるべき。

市民のため必要な医療体制の維持、存続は極めて重要。国、県に診療報酬など経営支援、医療人材確保などを行ってきた。今後も強く要望していく。

長谷川 有理 議員



介護保険体制の維持について

質問 ケアマネジャー不足対策を。

答弁 居宅介護支援事業所所属ケアマネ30人、施設所属ケアマネ28人。不足は重要な課題と認識。

質問 令和5年度介護人材確保支援補助事業予算230万円で執行約16万円と実績が少ない。対策を。

答弁 啓発と制度の見直しを図る。

質問 報酬減やヘルパー確保に苦慮し減少傾向の訪問介護事業所や介護人材確保への具体的支援策を。

答弁 今年度聞き取り調査と来年度介護人材実態調査し改善を図る。

質問 当市認知症専門医数は。専門医の早期受診など認知症支援を。

答弁 認知症専門医0人。もの忘れ相談医3人。早期受診は重要。

共生社会の実現について

質問 障がい者就労施設からの物品調達が連続して目標額未達成だったが、原因と解決策は。

答弁 コロナ禍以前の需要がまだ

戻らなかった。マッチング対策として自立支援協議会と説明会を開催し市職員との意見交換を行った。

質問 孤独対策としての居場所の立ち上げ支援・担い手育成を。

答弁 ひきこもり当事者を対象とした居場所の設置を進める。

質問 ヤングケアラー含むヘルパー派遣事業導入を見据え、育成を。

答弁 当市にこども家庭センターを設置する事により研究していく。

質問 ホントカにプリクラやカラオケを設置し孤独対策健康増進を。

答弁 運営中の高校生のワークシ

夏場の災害対策について

質問 8月25日記録的短時間大雨と停電があった。停電時冷房が機能する避難所と福祉避難所の数は。

答弁 市内指定避難所68か所で停電時に冷房使用可能な施設は0。福祉避難所として指定避難所5か

所、協定締結している民間の福祉施設は12施設あるが、停電時に冷房使用可能な施設は0と認識。

質問 夏場の災害では暑さ・電源・断水など課題は多い。BCP（業務継続計画）研修支援を。

答弁 事業所と情報交換していく。

総務文教委員会

令和6年7月2日～4日

小中学校の給食費及び保育料の無償化について

山梨県南アルプス市

当市では財政面などから実施していない小中学校の給食費無償化及び保育料の無償化(0～2歳児)について、施策の導入経緯や費用対効果などを学んだ。

青少年育成プラザ「ミアキス」について

山梨県韭崎市

中高生の第三の居場所として、2016年にオープンした「ミアキス」の取り組みや運用の仕方、利用状況、利用者の反応などを学んだ。

不登校児童生徒とその保護者に対する支援について

長野県長野市

人口規模に違いはあるが、本年4月オープンの教育支援センターササランドの取り組みには学ぶべきことが多い。不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援や保護者に対する支援など全般の取り組みを学んだ。

民生産業委員会

令和6年7月23日～25日

産婦人科・小児科オンライン相談事業の取り組みについて

宮城県角田市

少子化と医療機関不足に対応するため、オンライン相談システムを導入。24時間対応の産婦人科・小児科相談や産後うつ等の早期発見など、ICTを活用した支援事業。特に若年層が利用しやすく、登録数も増加。一方、緊急時対応やセキユリテイ強化などの課題も。当市にとっても検討すべき有意義なモデルケースではないか。

北上市モバイルクリニック事業について

岩手県北上市

モバイルクリニックを活用し、医療機関が限られた地域の高齢者や通院困難住民への医療機関へのアクセス改善事業。オンライン診療を行うことで住民の負担を軽減。一方、その後の対応制限やモバイルクリニック車両の導入費用が課題。しかし、災害時の医療支援にも活用できる可能性があり、活用事例も含め、今後も注目すべきモデルケースではないか。

市政の内容を聞く

一般質問

行政視察報告

議会報告会および意見交換会にお越しく下さい

【目的】

市民の議会活動への参画を促進し、市民の意向を市政に反映することを目的に、どなたでもご参加いただける、オープンな形式で開催いたします。

【議会報告会】

議会で審議された内容を報告し、市政の課題や議会の活動状況を共有します。

【意見交換会】

①若者の居場所づくり
②農林水産業全般
の2テーマについて、参加者と意見交換します。

【開催日程】

日 時：令和6年11月16日（土）13時30分～15時（90分間）
会 場：小千谷市ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。演アンカー
出席議員：市議会議員全16名が出席予定。
参加申込：事前申し込み不要。どなたでもお気軽にご参加ください！



今年の会場「ホントカ。」演アンカー



昨年の様子

本会議をインターネット中継しています

市議会ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。市政への一般質問で各議員の顔写真の下に二次元コードを掲載しています。スマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継をご覧いただけます。また、会議録も市議会ホームページで閲覧できます。（令和6年第3回定例会の会議録掲載は、11月末頃となります。）

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/site/gikai/>

小千谷市議会

検索

市議会を傍聴してみませんか 第4回定例会開催予定

11月29日(金) 第1日 議案上程説明
12月2日(月)～4日(水) 各常任委員会で審査
12月19日(木) 第2日 一般質問
12月20日(金) 予備日 一般質問(質問者が多い場合に開催)
12月24日(火) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(Tel.83-3505)へお問い合わせください。委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

市議会だよりをアプリで配信中



マチイロ

スマートフォンやタブレット端末で使える無料アプリ「マチイロ」で配信中です。ぜひご利用ください。

マチを好きになるアプリ



Android用



iPhone用

第3回定例会、歳入歳出決算審査において活発な質疑や意見があった中、9月24日に閉会しました。さて、大リーグでは大谷選手が日本人選手の記録を次々に塗り替え、多くの人達に元氣と感動を与えてくれました。では、小千谷ではどうでしょう。市内各地で多くのイベントが盛んに開催されています。そこで活躍する各団体の皆さんから、元氣をもらっています。9月28日には、ホントカ。がグランドオープンに至りました。本施設は図書館のイメージが強いと思いますが、市民の多目的の場として皆さんが活躍できる場でもあります。子供達の遊びの場、学生の学びの場、ご年配の方々の憩いの場、そして市民自らが、元氣を創出できる「楽しい」を詰め込める場でもあります。複合施設の強みを生かし、これから私達に何が出来るのか。市民の想いが詰め込まれる施設とし、官民連携で小千谷の活性化を考えていかなければと切に想ってまいります。

編集委員 佐藤 勝義

編集後記